

第5章 八上城跡の本質的価値

1. 本質的価値

八上城跡の本質的価値とは、国史跡に値する歴史上・学術上の価値であり、その内容は指定説明文において明示されている。本計画では指定説明文に明示された価値に加え、丹波篠山市の歴史的背景から八上城跡の位置づけを踏まえた本質的価値について、次の2点に整理した。

戦国期の時代背景に伴う築城変遷を示す城跡であり、かつ精緻な縄張りや遺構が残存している貴重な山城であること
<ul style="list-style-type: none">・波多野氏が初期に築城した奥谷城(蕪丸)と、その後本格的に築城した八上城、さらにその対岸に築かれた法光寺城が残存している。・東西に延びる山陰道を意識し、高城山と法光寺山の東西と南北の稜線に巧みに構築された縄張りや、石垣、塹堀、曲輪群等の遺構が残存している。・高城山山頂を中心とする山城跡と山麓の居館跡(指定地外)が残っている。
戦国期から近世初期にかけて丹波篠山で繰り広げられた歴史を物語る上で不可欠な山城であること
<ul style="list-style-type: none">・戦国期の八上城を巡る激しい攻防の舞台となった城郭群が八上城跡を取り囲むように残存している。・丹波篠山の中心が戦国期の八上城から近世の篠山城へと移り変わる時代背景を示す城跡である。・中世の山城である八上城跡と近世の平山城である篠山城跡が現在も遺存しており、丹波篠山の歴史的背景を物語る城跡である。

2. 構成要素

八上城跡を構成する要素は、史跡指定地内でのⅠ. 史跡八上城跡を構成する要素、史跡指定地外でのⅡ. 史跡八上城跡の周辺環境を構成する要素の大きく2つに区分できる。

Ⅰ. 史跡八上城跡を構成する要素としては、城郭遺構として「A：本質的価値を構成する要素」、地域の歴史を伝える施設として「B：本質的価値に準じる要素」、史跡の保存と活用のための施設として「C：史跡の保存活用に資する要素」、取り扱いの検討が必要な施設として「D：その他の要素」に区分した。

Ⅱ. 史跡八上城跡の周辺環境を構成する要素については、第1章で設定した計画対象範囲について、八上城跡の遺構として「E：本質的価値に準じる要素」、八上城跡の攻防に関わる付城跡と八上城跡に関わる城下町遺跡を「F：本質的価値に密接に関わる要素」、八上城跡の活用のための施設として「G：八上城跡の保存活用に資する要素」、さらに八上城跡周辺の歴史環境資産として「H：その他の要素」に区分した。

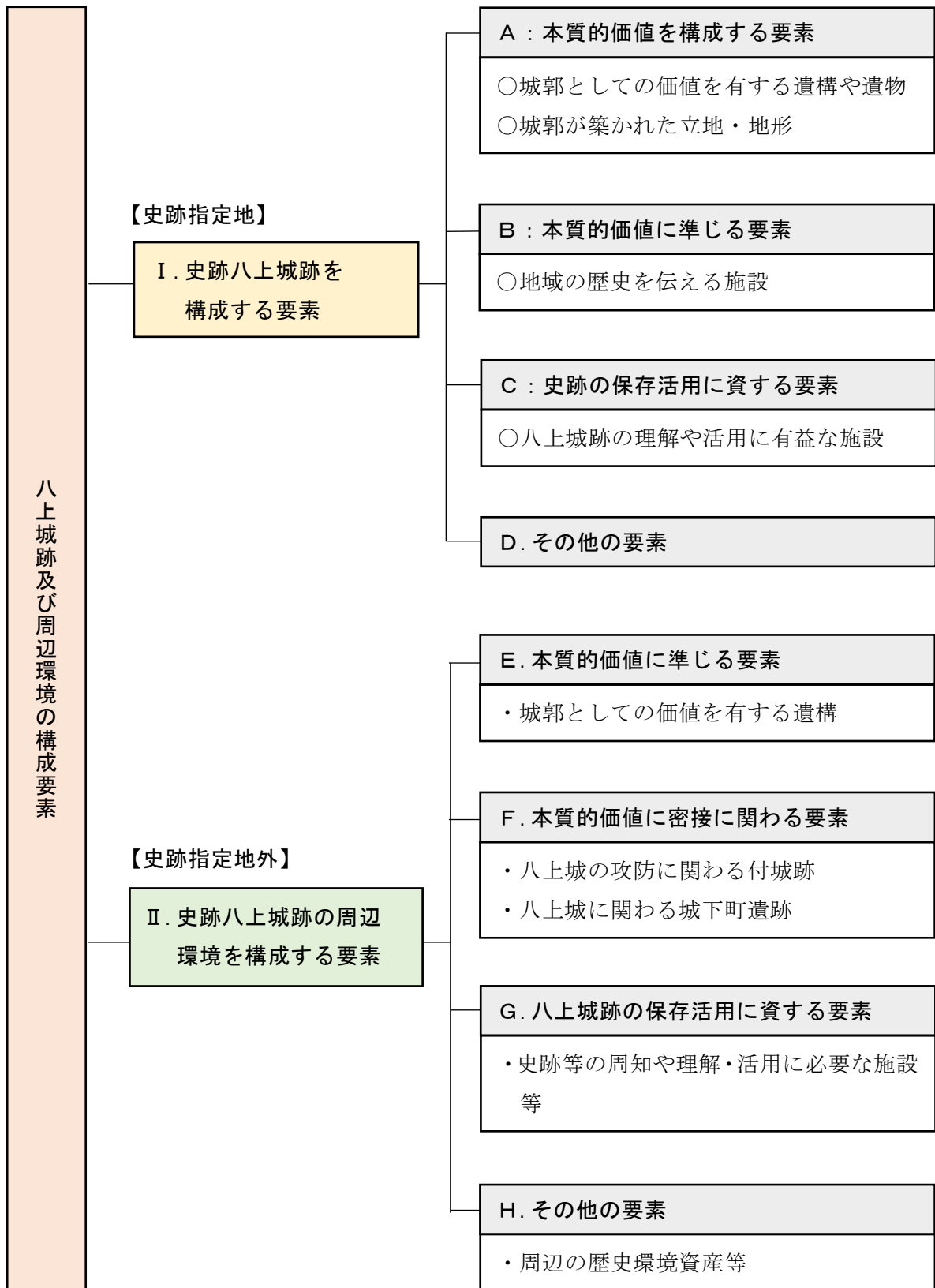


図 5-1 構成要素の区分

I. 史跡八上城跡を構成する要素

A : 本質的価値を構成する要素

分類	構成要素
○城郭としての価値を有する遺構や遺物	縄張り、曲輪、石垣、池、竪堀、大堀切、切岸、土塁、土橋、地下に埋没していると想定される遺物
○城郭が築かれた立地・地形	高城山、法光寺山

○城郭としての価値を有する遺構等



曲輪[主-Ⅲ](岡田丸)



曲輪[主-Ⅳ](二の丸)



曲輪[東-I](茶屋の檀)



曲輪[主-X](池東番所)



曲輪[奥-I]



曲輪[法-A]



石垣(曲輪[主-I](本丸))



石垣(曲輪[主-I](本丸))



石垣(曲輪[主-VII](右衛門丸))



池(八上城)



竪堀：東側(八上城)



竪堀：西側(八上城)



大堀切(奥谷城)



切岸(奥谷城)

○城郭が築かれた立地・地形



篠山盆地からの眺望



篠山城跡からの眺望



八上城本丸からの眺望

B：本質的価値に準じる要素

分類	構成要素
○地域の歴史を伝える施設	波多野秀治公表忠碑、石碑



波多野秀治公表忠碑



石碑

C：史跡の保存活用に資する要素

分類	構成要素
○八上城跡の理解や活用に有益な施設	見学路、史跡説明板、遠景説明板、遺構説明板、行先表示板、ベンチ、樹名札



見学路(擬木階段)



史跡説明板



遠景説明板



遺構説明板



遺構説明板



行先表示板



ベンチ



樹名札

D : その他の要素

構成要素
曲輪内の獣害柵、曲輪内の樹木、山頂等からの眺望を阻害している樹木等



曲輪内の獣害柵 (法光寺城跡)



曲輪の樹木
(八上城跡：伝茶屋の檀)



曲輪の竹林 (奥谷城跡)



曲輪の植生 (奥谷城跡)



眺望を阻害している植生

Ⅱ. 史跡八上城跡の周辺環境を構成する要素

E : 本質的価値に準じる要素

分類	構成要素
○城郭としての価値を有する遺構等	山麓部の曲輪(主膳屋敷跡、東陽寺北西部の曲輪等)



主膳屋敷跡



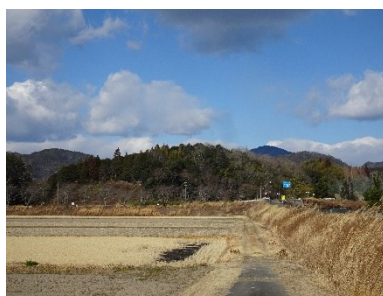
東陽寺北西部の曲輪

F : 本質的価値に密接にかかわる要素

分類	構成要素
○八上城の攻防に関わる付城跡	<ul style="list-style-type: none"> ・明智氏と波多野氏の攻防に関わる付城跡 [大上西ノ山城跡、井根山館跡(野間砦跡)、塚ノ山砦跡、勝山城跡(勝山砦)、般若寺城跡、井上城跡、堂山城跡(堂山砦)、曾地城跡、高野山城跡(曾地奥砦)]
○八上城に関わる城下町遺跡	<ul style="list-style-type: none"> ・八上城跡北麓の城下町遺跡[参考地域] ・奥谷城(蕪丸)跡の城下町遺跡[参考地域]



大上西ノ山城跡



塚ノ山砦跡



般若寺城跡



井上城跡



勝山城跡(勝山砦)



堂山城跡(堂山砦)

G：八上城跡の保存活用に資する要素

分類	構成要素
○史跡の理解や活用に有益なサイン施設等	見学路、史跡説明板、登城路説明板、駐車場、トイレ、パンフレット配布・掲示板、行先表示板、樹名板



見学路(擬木階段)



史跡説明板



史跡説明板



遺構説明板



波多野秀治公表忠碑説明板



登山道説明板



登山道説明板



駐車場(春日神社コース入口)



駐車場(野々垣コース入口)



トイレ(春日神社コース入口)



パンフレット配布箱・掲示板



行先表示板

H：その他の要素

分類	構成要素
○周辺の歴史環境資産等	山陰道、町並み、社寺、歴史的建造物、一里塚



山陰道



春日神社



歴史的建造物
(重兵衛茶屋：市史跡)



歴史的建造物



一里塚

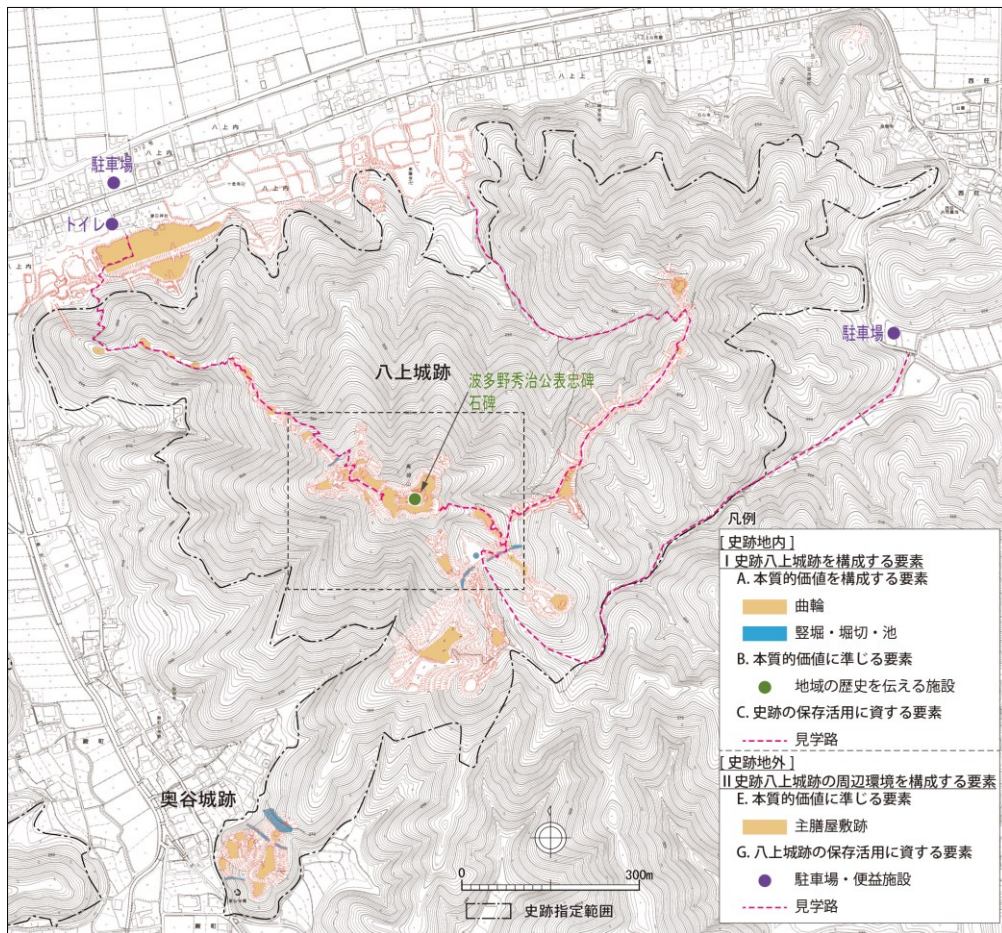


図 5-2 八上城跡を構成する要素
※八上城跡の主峰地区の曲輪群については p4-14 参照